

1. 製品・部品・製造ラインをモデル化し製品実現性をシミュレーション	
3D-CAD設計・解析ソフト	製品・部品の材質・形状を再現し、製品が使用されるとき挙動を解析する。
ファクトリーシミュレーター	工場の製造ラインを再現し、加工・組立の実現性・コスト・リードタイムを解析する。
BOM(部品表)システム	製品・部品の加工・組立のコスト・リードタイムの原単位を記録する。
2. サプライチェーンをモデル化し需給実現性をシミュレーションする	
S&OP	中長期の需給計画、及び、生産能力計画のバランス・ギャップを、物量と金額の両方の視点で可視化・解析する。
SCP	短期の需要予測、販売計画、生産能力、及び、物流能力に基づき、サプライチェーン全体の発注・生産・物流・在庫の最適なネットワークとキャパシティを算出する。
3. 製造とサプライチェーンのオペレーションを実行し、結果をリアルタイムに記録する	
MRP/MRP II /APS	資材、人員、設備、資本等の生産資源要素を管理対象として、資材所要量、労働力配員、資金所要量など、製造に必要な資源の投入計画(生産オーダー)を策定し、実行結果を記録する。
MES	MRP/MRP II /APS等によって計画された生産オーダーに基づき、工場の機械や労働者の作業をスケジューリングし、実行結果を記録する。ものづくりの詳細情報を記録する。
WMS	ERPによって計画された生産オーダー・出荷オーダーに基づき、個々の倉庫内の労務管理、作業工程管理から入荷、検品、ピッキング、梱包、出荷の一連の庫内作業をスケジューリングし、実行結果を記録する。
TMS	ERPによって計画された生産オーダー・出荷オーダーに基づき、配送計画から動態管理、運行実績管理、運賃計算/支払請求等、一連の物流作業をスケジューリングし、実行結果を記録する。
PLC・設備センサー	設備の稼働実績、及び、稼働に伴う画像・振動・騒音等の物理現象を測定し、デジタルデータに変換する。人の動きのキャプチャーもここに含まれる。
製造・物流情報収集基盤	工場・倉庫など自社のサイト内で発生した事象のデジタルデータを収集・記録するためのセンサ・レシーバー・ネットワーク・データベース。
4. 製品や部品の振る舞いをリアルタイムに記録する	
製品センサー・製品モジュール	市場に販売される製品の挙動を測定・デジタル変換し、データを製品情報収集基盤に送信するモジュール。
製品情報収集基盤	市場に販売され利用中の製品の挙動を収集・記録する。クラウドサービスが一般的。
5. 製品や工場、物流網の改善ポイントを抽出する	
データ分析ソフト・サービス	上記1-4で蓄積するデータを比較分析し、その中に潜む項目間の相関関係やパターンなどを探し出すためのアプリ。最近ではクラウドサービスでオンデマンドに利用できるケースが増えている。
6. 商品やサービスを評価し、事業ポートフォリオを見直す	
製品・部品-原価収益管理システム	製品・部品別に原価と売上を管理し、生涯収支の可視化・予測を行う。